

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産事業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

## 事 業 名 県産材安定供給システム構築支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 加工流通係 電話番号：058-272-1111(内3013)

E-mail：c11545@pref.gifu.lg.jp

**1 事業費 補正要求額 155,285 千円 (現計予算額： 0 千円)**

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	155,285	0	0	0	0	0	0	0	155,285
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

コロナ禍で昨年から継続するウッドショックによる世界的な木材需要の変動に加え、ロシア・ウクライナ情勢の影響で柱土台等の住宅用構造材だけでなく垂木などの小さな断面の部材も不足し、価格の高騰が長引くことが懸念される。

工務店が外国産材の需給状況に左右されず、木材製品の確保を図るためには、地域の製材工場と結びつき、外国産材から県産材への切り替えを早急に進めることが有効である。

しかし県内の木材加工場では、製材機械や乾燥施設の不足により、外国産材製品と同程度の品質の確かな国産材木材加工製品を供給することができていない状況である。

外国産材から切り替えをする県産材を安定的に供給するために、地域の県産材を供給する木材供給者(木材市場)と県産材を加工する製材工場、そして県産材を消費する工務店が協力し、安定した価格で安定した量を取引できるシステムを構築することが必要である。

こういった仕組みを構築することで、コロナ禍の木材不足により、外国産材の調達が出来ずに住宅建設に影響を受けている工務店等の支援につながるとともに、ひいては県産材需要量を増やすことにつながる。

今後さらに高まる県産材の需要について、新たに外国産材から県産材への切り替え需要に答える木材加工者に対し、製材加工施設等の整備を支援し、安定的な県産材の供給体制の強化を図る。

## (2) 事業内容

○安定協定の着実な実施に必要となる県産材製品の国産材木材加工施設整備  
安定供給システムの構築における県産材の円滑な供給を行うために必要となる  
木材加工施設の導入に対し助成する。

[事業実施主体]

安定供給に関する協定を締結した森林組合、協同組合、株式会社等

## (3) 県負担・補助率の考え方

補助率：1/2

・国補事業と同じ補助率を設定

## (4) 類似事業の有無

有： 林業・木材産業構造改善事業（国補）

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	155,285	木材加工施設の整備支援
合計	155,285	

## 決定額の考え方

--

## 4 参考事項

## (1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画（R4～R8）

## (2) 国・他県の状況

近県では類似の取組はない

## (3) 後年度の財政負担

なし

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	県産材安定供給システム構築支援事業費補助金
補助事業者（団体）	森林組合、協同組合、株式会社等 (理由) 安定供給に関する協定を締結した木材加工業者
補助事業の概要	(目的) 県産材の安定供給システムを構築し、木材の需要変動に強い県産材の供給体制を整備する。  (内容) 県産材の円滑な供給を行うために必要な木材加工施設の導入を支援する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1/2 (理由) 国補事業と同じ補助率を設定
補助効果	木材加工製品が安定的に供給され、地域内の県産材住宅建設事業者の安定的な住宅受注につながる。
終期の設定	終期4年度 (理由) 新型コロナウイルス感染症に伴う対策のため

### (事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 品質の確かな製品＝木材加工製品の供給を増加させ、県産材住宅建設事業者の安定的な住宅受注を図る。</p>
--

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①県内における県産材需要量	425	425	—	481	606	
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	/	/	/

## (これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組内容と成果を記載してください。</li> </ul>
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

## (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	新型コロナウイルスの影響及びウッドショックにより木材が不足し、価格が高騰している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価)	

## (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>事業が直面する課題や改善が必要な事項 県産材製品の供給量を増加させ、県産材住宅建設事業者の安定的な住宅受注を図る。</li> </ul>
---

## (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続なし 新型コロナウイルス感染症に伴う対策のため</li> </ul>
---